

製品名: PIM1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02810**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.37mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

遺伝子名	PIM1
別名	PIM1; Serine/threonine-protein kinase pim-1
遺伝子 ID	5292
SwissProt ID	P11309
免疫原	ヒト PIM1 の合成ペプチド

背景

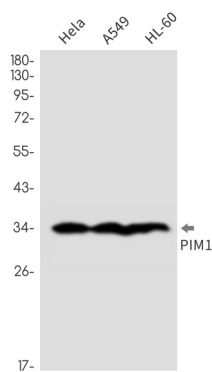
PIM1 は、細胞の生存と増殖に関与するセリン / スレオニンキナーゼであるプロトオンコジーンであり、腫瘍形成において選択的優位

性をもたらします。その腫瘍形成活性は、MYC 転写活性の調節、細胞周期進行の調節、そしてプロアポトーシスタンパク質 (BAD、MAP3K5、FOXO3) のリン酸化と阻害を介して発揮されます。MYC のリン酸化は MYC タンパク質の安定性を高め、それによって転写活性を高めます。PIM1 による MYC の安定化は、腫瘍形成におけるこれら 2 つのがん遺伝子間の強い相乗効果を部分的に説明する可能性があります。

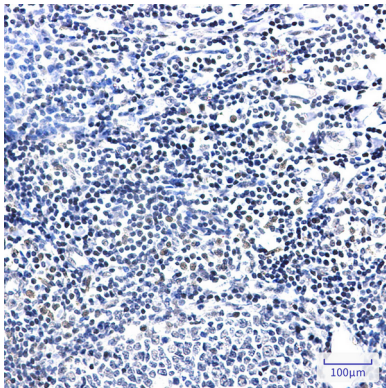
研究分野

シグナル伝達

画像データ



PIM1 抗体を使用した HeLa、A549、HL-60 溶解物中の PIM1 のウェスタン ブロット分析。



PIM1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。